

歴史的なこの一年で学んだこと

2020年は歴史に残る一年となりました。未知のウイルスは世界中を大混乱に陥れ、私たちの日常生活はすっかり変わってしまいました。「いまのままでいいや」と放置していたことも、それではいけないことがわかり、一気に改革が進みました。

NPO法人サロン2002の広報誌『游 ASOBI』も第4号となりました。今回も toto の助成を受け、わたしたちの“志”である「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」を、さまざまな角度からお届けします。

“ゆたかなくらし”についても新たな視点から見直す一年となり、わたしたちの活動そのものも大きく様変わりしました。月例会や公開シンポジウムはオンラインで開催し、試行錯誤を繰り返しながら、できることを徐々に広げていきました。公開シンポジウムはその集大成です。<「With/After コロナ」に向けて—“ゆたかなくらし”の新しいすがた>をテーマに、第1部では「イベント」を、第2部では「新しい日常」を中心に取り上げ、全国各地、海外までつないで多様なトピックを取り上げることができました。サロンのメンバー一人ひとりが、歴史的な転換点であるこの一年をしたたかに歩んでいます。シンポジウムとともに「寄稿編」にも数々の取り組みが紹介されています。ぜひご一読ください。

対面での行事はほとんどできませんでしたが、第5回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップを、厳しい状況の中で無事開催できたことは大きな自信と喜びになりました。U-18年代にとっては、2020年度で唯一と言えるフットサルの全国大会です。ここでも新たな様式を試みました。「わたしたちの取り組み」と「サロン2002からのメッセージ」に、同大会の様子や開催をめぐる葛藤が記されています。「With コロナ」の記録として参考にいただければ幸いです。

引き続きパンデミックのさなかにあります。2021年にずれ込んだ東京オリンピック・パラリンピックもまだまだ不透明です。「With コロナ」はしばらく続くでしょう。

大事なことは、ここで得た知見をいかに「After コロナ」に活かしていくかです。

ぶれない“志”と変えていく勇気をともに持ちながら、誠意をもって一つひとつの事業に取り組んでまいります。そして次の世界が開けてきたとき、私たちの“志”の「新たなすがた」が具体的にみえてくるようにしておきたいと考えます。

これからもよろしくお願いします。そして、「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」という“志”に賛同していただけるなら、私たちの仲間になりませんか？

2021年3月1日

特定非営利活動法人サロン2002

理事長 中塚義実

